

20 保健

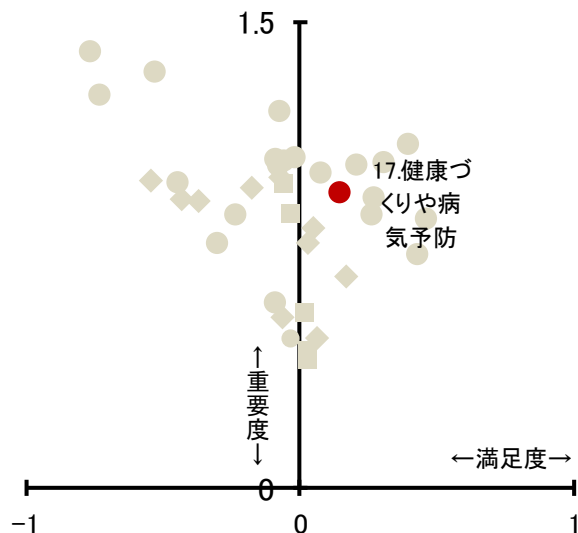
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

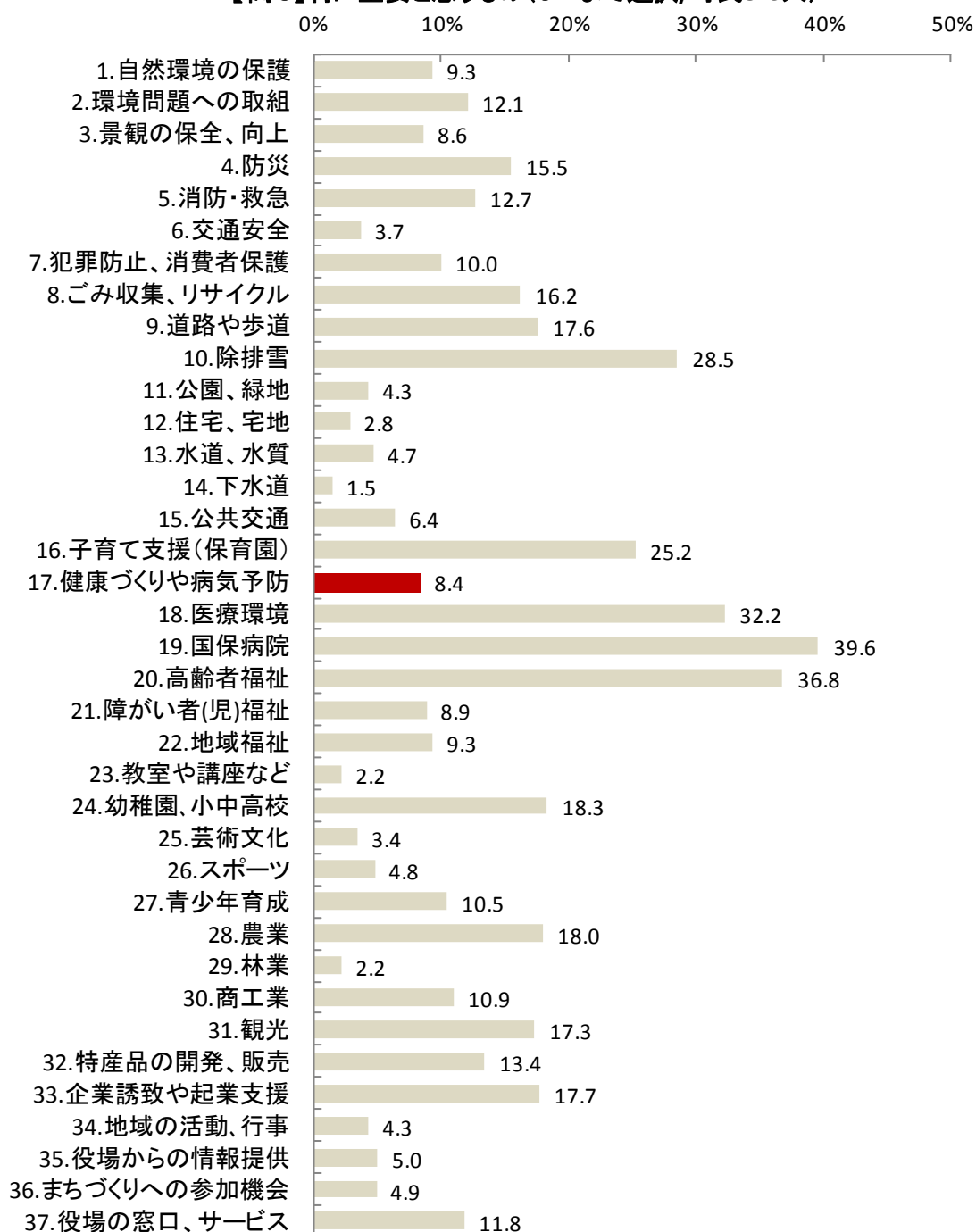
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

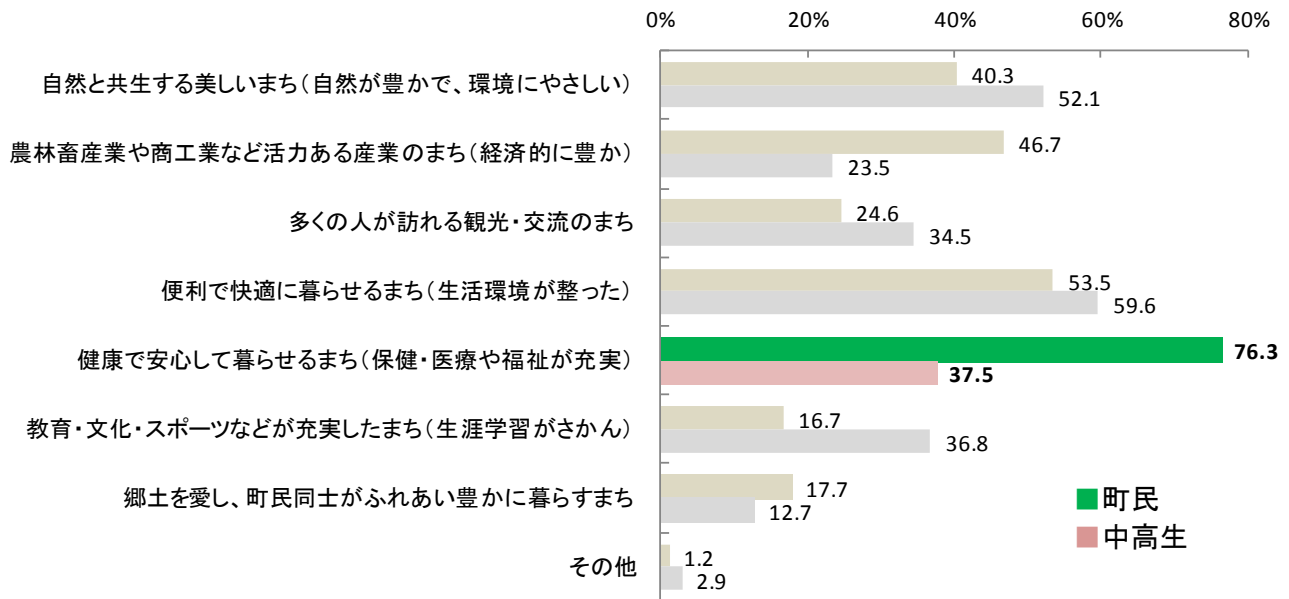
問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。



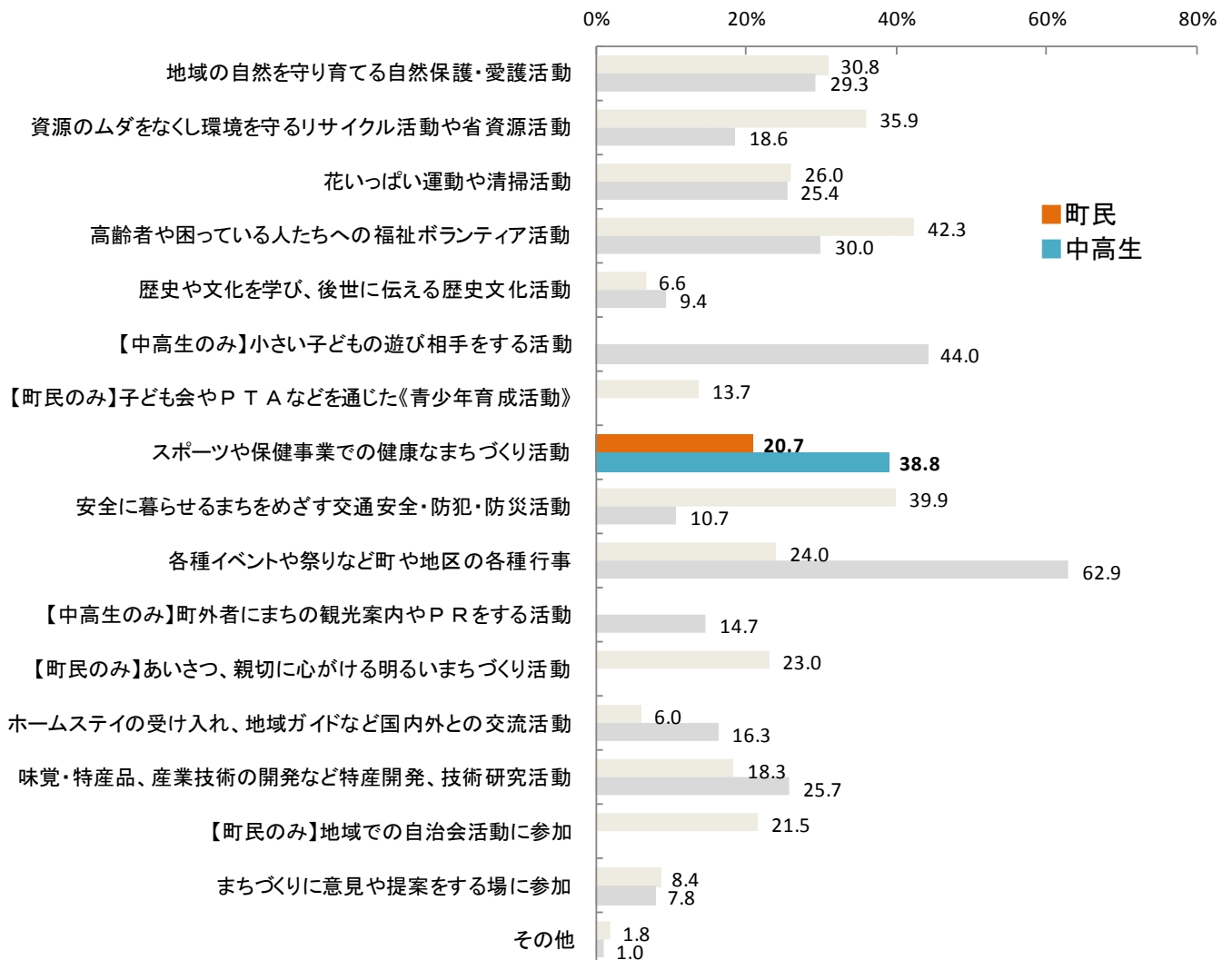
【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)



【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/上段:町民、下段:中高生)



【問7】参加したい(できる)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択/上段:町民、下段:中高生)



(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
総合的な体制の充実	地域保健医療福祉情報システム※の構築	保健・医療・福祉ネットワーク推進委員会において連携や必要な取り組みについて検討を行い、認知症予防を目的とした「やまびこ」等の活動が開始された。	地域保健医療福祉情報システムについては個人情報や医療機関の体制整備が必要等実施については課題が大きい。	高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、包括的なケアシステムの構築が必要
保健予防、保健指導の推進	生活習慣病の予防に向けた運動習慣の確立や食生活改善等	各種健診の受診率向上のために受診勧奨、啓発、自己負担の軽減等の取り組みを行い特定健診においては受診率の向上が図れた。	特定健診の受診率は向上したが、目標に達していない現状がある。	今後も健康づくりの推進のため、取り組みを行う。
	総合的で連携を強化した地域保健、学校保健、職域保健の推進	健康増進計画推進委員会を開催し町内関係団体等から意見をもらいながら健康増進計画を策定し今後の取り組みの検討を行った。職域対象の健康教育の実施や職域と連携し健診体制の整備を図ることができた。	こころの健康や不登校、ひきこもり等の課題は増えてきている。	今後も健康づくりの推進のため、取り組みを行う。
	予防接種による感染症予防	定期予防接種に新たにヒブ、肺炎球菌、子宮頸がん等の予防接種が加わり接種体制の整備及び受診率向上のための勧奨を行った。	安全に実施できる体制整備	近年、予防接種法の改正が多く情報を収集しながら安全に実施できるよう対象者へのわかりやすい周知が必要
介護予防の推進	介護予防マネジメント※体制の確立	平成 18 年度に地域包括支援センターを設置以降、要支援 1・2 と認定された方及び要介護状態となる恐れの高い虚弱な状態にある方の予防ケアプランを作成による介護予防マネジメントが図られている。	現在、地域包括支援センター職員の介護支援専門員により体制は確立されており要支援認定者への対応は図られているが、今後認定者が増える場合における職員の充足は必要となる。	今後も職員の学習会等の実施によるスキルアップを図りながら適正な支援を行う。
	生活習慣病を予防する生活の理解と自ら健康づくりに取り組める環境の整備	健診結果説明会による個別指導や老人クラブの健康相談、出前講座、運動教室を開催し健康づくりの啓発を実施。	高齢者の増加が今後予想され、行政の取り組みだけでは困難な現状にある。	地域と協力した取り組みの強化
	特定高齢者※の早期発見と生活機能の低下を防ぐ	特定健診や地域包括支援センター等との連携から対象者を把握し介護予防教室につなげ機能低下予防を図った。	高齢化の進行により身体的な機能低下だけでなく認知症予防のための取り組みが必要	地域と協力した取り組みの強化

	地域ぐるみでの軽度認知症の早期発見	包括支援センターの実態把握や見守り協定関連機関からの情報提供を受け、保健師や包括支援センターと連携して医療機関受診や介護サービス提供へつなげる。	独居や高齢者のみ世帯以外の認知症の方の把握	今後要介護者の増加が見込まれており、地域による見守り体制の連携を図る。
	認知症に関する地域サポート体制の整備	認知症サポーター1,650名養成(平成25年度末)。	初期養成のサポーターの再研修、若年性認知症のサポート等の実施	認知症サポーター養成講座の周知及び開催。
健康づくりの推進	ヘルスリーダー※の養成、育成および活動の推進	第7期ヘルスリーダー養成講座を実施。現在ヘルスリーダー24名が活動している。	ヘルスリーダー養成講座受講生が少ない現状がある。	今後も美幌町の健康課題に応じた取り組みを行政と一緒に取り組んでもらうよう育成をしていく。
	地域における健康づくりの推進	出前講座、各種健康教室の開催	地域との連携及び協力	地域と協力した取り組みの強化
	質の高い健康運動指導員の確保	・指導員養成講座の実施(概ね2年に1度) ・研修の実施(年に数回)による運動指導員の育成	・質の高い運動指導員の確保 ・住民の多様なニーズに合わせた運動指導員の育成	・引き続き運動指導員の養成・育成を実施する。
	生活習慣病予防あるいはコントロールに向けた食生活等の改善	出前講座、各種健康教室の開催	食習慣の改善	ヘルスリーダーや関係機関と協力した取り組みの推進
	施設の整備・充実	利用者が安全で安心して利用できるよう、計画的に修繕及び更新を実施する。	施設開設後10年が経過し、経年による修繕や機器更新が必要な箇所が増大している。	・計画的に修繕及び更新を実施する

※地域保健医療福祉情報システム：保健・医療・福祉分野の情報の共有化や、相互に情報交換できるシステムで、情報のネットワーク化により、効率的で関係機関が連携のとれたサービスの提供をめざすもの。

※介護予防マネジメント：介護の予防と悪化防止のため、対象者への状態の一次評価、介護予防ケアプランの作成、サービス提供後の再評価、事業評価などを行うこと。

※特定高齢者：65歳以上で生活機能が低下し、近い将来介護が必要となるおそれがある高齢者。介護予防の観点から行われる健診の結果、生活機能の低下が心配される人、要介護認定の非該当者、保健師などが行う訪問調査などの結果、生活機能の低下が心配される人などが該当する。

※ヘルスリーダー：美幌町が実施するヘルスリーダー養成講座を受講し、自らの健康に関心を持ち、健康的な生活習慣を実践するとともに地域における健康づくりのリーダーとして主体的に取り組む人。

(3) 意見、提案

☺ : 小学生 ⚙ : 中学生 ♀ : 育児ママ 𑍎 : 自衛隊 ⚙ : 高齢者 ● : 町民 ○ : 職員

- 子供がいる人への講座などをもっと開いてほしい。ベビーマッサージや、病気になった時の対処の仕方や、症状を写真や実演でわかりやすく説明してくれるなど。(女性・10～20代)
- 町の医療費持ち出し削減について。現在、高齢者が健康のためにはと思いコミセンへ卓球をしに行きますと、1回200円使用料がかかりますね。あれは反対。適当に運動をしていると健康に良いので、医療費(薬代)があまりかからず、町の持ち出しが少なくてすむので、スポーツに来られた方には1回200円をあげる(無料にする)べきだと思います。最近はどうもへりくつばかりで、あまり汗をかかない人が多い。適当に運動をすると糖尿病もぐんと減るよ。(男性・70代以上)
- 町民の健康づくりの拠点とする「しゃきっとプラザ」を中心に、さまざまな取り組みをされているが、特定健康診断の受診率が伸び悩んでいる。町民ひとりひとりが、健康増進の意識を高めるためにも、健康に関心を持ち、健康づくりを実行、継続できるようなまちづくりを推進しても良いのでは。(男性・30代)
- 現在、シャキットプラザには運動する設備があるそうですが、血圧の高めの人には使用出来ないとか。健康な人はスポーツセンターがありますが、やや不安のある人は、健康になる為に、指導者がついて改善する為のプログラムなどを作り、利用出来て、悪くならない為に使用すると良いのではないのでしょうか。(女性・60代)
- シャキットについてです。午前9:20からですが、一組のメンバーがいます。6～8人の女性です。大きな声でしゃべる、笑う、まじめに水中ウォーキングをしたい人達は迷惑しています。係の女性には言いますが、なかなか注意が出来ないようです。午前9:20に、始めのころは若い方、男性が来ていましたが、今は来ません。時間を変えて来ています。私はシャキットに10年通っていますが、最近では行く気になりません。抜き打ちで、見学して下さい。(女性・70代以上)
- 健康で長生きを楽しめないと長生きの意味がないので、健康の必要性についてもっと若い世代から意識付けする。